

令和5年度全国安全週間説明会開催される

スローガン「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」

令和5年度全国安全週間説明会は、6月9日日立シビックセンター音楽ホールにおいて、会員事業所役員、ご担当者様をはじめ関係者を含め約200名により、開催することができました。

主催者を代表して（一社）日立労働基準協会の椎名会長から、日頃、当協会の事業へのご理解ご協力と、本説明会への多数のご参加に感謝し、本週間を契機として、いつでも災害は起こりうるものとの危機感を持ち、安全・安心で明るい職場を作るための見直し改善に取り組む機会としていただきたい、とあいさつがありました。



（一社）日立労働基準協会 椎名会長



日立労働基準監督署 狩野署長

次に、本説明会の開催後援をいただいた日立労働基準監督署の狩野署長より、全国安全週間は、昭和3年から96回目となること、茨城労働局では本年を初年度とする第14次労働災害防止計画（5か年）に取り組んでおり、特に死傷災害の4分の1を占める転倒災害では通路の凹凸など、つまずきやすい段差を取り除くことが災害をなくす有効な手法です、本週間を契機に、労働災害防止の重要性を認識し着実な実行により、安心して働くことができる社会の実現をお願いします、とごあいさつをいただきました。（㊦）

次に、本年度の安全週間実施要綱による具体的な取り組み、災害発生状況等について、日立労働基準監督署の篠原第三方面主任監督官よりご説明いただきました。（㊦）



日立労働基準監督署 篠原第三方面主任

続いて、「労働安全衛生規則改正に応じた保護手袋の選び方」と題して保護手袋メーカーのダイヤゴム（株）寺澤様から、改正内容とそれに適合した保護手袋の説明がありました。（㊦）

最後に、特別講演が、放送作家・コミュニケーションアドバイザー 柏田真志氏の「笑顔が紡ぐ仕事の輪 ～安全はチームワークから！～」として、放送の舞台裏などの講演がありました。（㊦）



ダイヤゴム（株）寺澤様



柏田真志氏

会場客席 ⇒



* この機会に、労働災害の防止を再認識し、実施要綱の該当項目を実施して、より良い職場づくりをお願いします。